

浄化・結界・エネルギーブロック講座

講師：堤 裕司



日本ダウザー協会

The Japanese Society of Dowzers

目次

はじめに	…P. 3
Lesson1 エネルギーについて	…P. 4
エネルギーをブロックする方法／結界について／住まいでの結界の張り方 ／物や人への結界の張り方	
Lesson2 浄化	…P. 8
浄化の意味／西洋と東洋の浄化／浄化の方法	
Lesson3 様々な浄化の道具	…P. 10
波動の消しゴム／塩／セージ／塗香／アロマ・ハーブ／パーズペンデュラム／磁力 を使った浄化板／磁力を使ったエネルギー増幅板／ソートフォーム／ソートフ ォームの活用	
さいごに	…P.16

はじめに

私たちは、日常生活において、知らずのうちに受けたくないエネルギーを受けてしまっていることがあります。この講座では、悪いエネルギー、必要ないエネルギーを受けないようにするため、また、受けてしまった悪いエネルギーをどのように流したら良いのか、また、受けないバリアをどう張るか、「エネルギーのブロックの仕方」「結界」「浄化」について、具体的なテクニックを学びます。そして、そのテクニックを身につけ、ダウジングの精度をあげていくことを目指していきます。

講師

堤 裕司（つつみ ゆうじ）先生

1962年8月9日福岡県生まれ

1984年日本ダウザー協会設立

日本ダウザー協会会長

日本エネルギー医学協会理事

カリスマダウザーと言われる日本ダウジング界の第一人者

道具選びからダウジングの基本、質問の設定から導き出しかたまで、長く培った経験をもとに、わかりやすく解説します。

Lesson1 エネルギーについて

1. エネルギーをブロックする方法

- ダウジングの世界において、人間の体のエネルギーの流れは、左側から入ってきて右側から出ていくと考えてる。
- つまりエネルギーをブロックするためには、左側の入口をふさげば良い。
- 方法としては、左手の親指を内側にして左手を握る。
- 更に「これでエネルギーの入り口を塞いだ」ということを意識の中で関連付ける。
- 左手を握る「動作」と、入口を塞いだという「意識」を条件付けする事を何回か行う。
- 条件付けができれば、左手の親指を内側にして握っただけでも入ってこなくなる。
- 心理学では、感情が及ぶ範囲を「パーソナルスペース」と表現する。
- 「パーソナルスペース」が侵されることで気持ちが悪くなることがある。
- 例えば満員電車などで「「パーソナルスペース」が侵されて嫌だと思ったら、左手を握り、「エネルギーが入ってこなくなる」という条件付けをしてから電車に乗ったり、苦手な場所に出かけると良い。

☆ 「嫌なエネルギーを受けてしまいそう」と思ったら、左手を握り、意識の中で「何も嫌な影響を受けなくなる、嫌なエネルギーが入ってこなくなる」という条件付けをする。これが受けたくないエネルギーをブロックし、平常でいられるようになる一番簡単な方法です。早速日々の生活で試してみましょう!

2. 結界について

～結界の意味～

- 「結界」とは仏教用語で、仏典の中で細かく定義されている。
- 仏教における「結界」とは、僧侶が四人集まり儀式に従い「ここを神聖なる場所である」と決める事を言う。
- 本講座では「日常生活の中で不要なもの」や「良くないものが入ってこないようにバリアをはる」というイメージで考えると理解しやすい。
- 日本では、仏教との関連で「四隅」と言う数字が結界と結びついていることが多い。
- 西洋では7という数字は「聖なる数字」、「7の神秘主義」と呼ばれることがある。
- プラトンは7を、3と4に分解し、3は三位一体を意味し、4は四方世界を意味すると説いている。

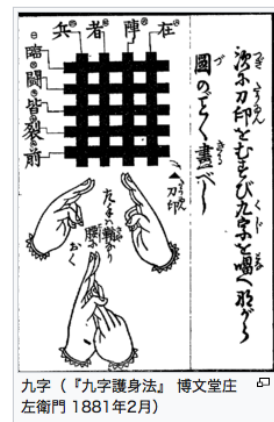
- 三位一体とは、キリスト教において父、子、精霊の魂の世界を表し、四方世界は現実
に起こる物質の世界を表す。
- 物質の世界と魂が結びついたものが7 としている。
- 日本では茶道において、茶室の入り口が真四角である意味は「ここから入りお茶を楽し
む入り口=結界である」ことを示し、四面を障子で囲まれている茶室の造り、四角い障
子、そして四角い障子の升目などもそれぞれ「結界」を表している。
- 悪魔的なエネルギーなどは、「四」で囲まれたものには入ってこれないとされるため、
住居において、部屋を障子で囲まれている状態は結界を張れていることとなる。

～「九字」による結界の張り方～

- 臨(りん)兵(びょう)鬪(とう)者(しゃ)皆(かい)陣(じん)烈(れつ)在(ざい)前(ぜん)
- インドではムドラーと言い、手で印を組みバリア(結界)を張る。
- この九つの文字に対応した手の形(手印)があるが、時間がかかるので、早く切る「早九
字」がある。
- 「早九時」は手刀を抜き、臨・兵・鬪・者・皆・陣・烈・在・前と唱えながら、井桁
を宙に書き、臨・兵・鬪・者・皆・陣・烈・在・前「オン キリキャラハラハラ フタ
ランパソツソワカ」と唱え、収める。
- この井桁は障子を表し、つまり四角で囲まれたところに悪魔が入ってこれない結界を
意味する。
- 漢字の意味を知った上で行うと良い。

☆参考 出典：Wikipedia

前 <small>ぜん</small>	在 <small>ざい</small>	裂 <small>れつ</small>	陣 <small>じん</small>	皆 <small>かい</small>	者 <small>しゃ</small>	鬪 <small>とう</small>	兵 <small>びょう</small>	臨 <small>りん</small>
隠形印 たててまじらぬ たててまじらぬ	日輪印 たててまじらぬ たててまじらぬ	智拳印 たててまじらぬ たててまじらぬ	内縛印 たててまじらぬ たててまじらぬ	外縛印 たててまじらぬ たててまじらぬ	内師子印 たててまじらぬ たててまじらぬ	外師子印 たててまじらぬ たててまじらぬ	大金剛輪印 たててまじらぬ たててまじらぬ	獨古印 たててまじらぬ たててまじらぬ



～西洋における結界(バリア)～

- 西洋における代表的な結界(バリア)は魔法円で、魔術師を守る結界の意味がある。

- ・魔法円は、図形と、文字そのものに意味と力を持つとされるヘブライ語による魔術的な言葉から構成される。

3. 住まいでの結界の張り方

- ・家などは概ね四角、その四隅に塩を置くなどする。

～結界の範囲～

- ・家の場合：部屋の四隅、家全体、あるいは敷地全体の四隅。
- ・街全体の場合：街の入り口の四隅。
- ・江戸時代には村と村の境目にお地藏様を建てたが、それも結界であった可能性がある。
- ・結界はその人の意識が及ぶ範囲と考えるため、個人の限界範囲は、部屋、家、敷地と考えられる。

4. 物や人への結界への結界の張り方

～「弾指(たんじ)」による結界の貼り方～

- ・「弾指」は、曹洞宗や真言宗において結界を張る方法で、僧侶は「弾指」の習得が求められるとされている。
- ・「弾指」により物や人に結界を張ることができる。
- ・「弾指」は小指、薬指、中指の三つを曲げる事によりできた空間に親指が当たり共鳴する原理である。
- ・「弾指」により結界を張る場合は三角に行く。
- ・例えば、出先で何かほしい商品を見つけた時、自分が買う時まで「弾指」により結界を張り、他の人に見えなくするためなどに用いる。
 - ・「四」は、土地、大地、家などの物質世界、「三」は三位一体で魂を表すため、魂などの精神世界を示すことがあり、それぞれ四角と三角でエネルギーをブロックするという解釈も可能とされる。

～人への結界の張り方～

- ・時代劇で見る火打石は、「魔を払いその人が無事に帰ってこられるように」という結界の貼り方の一つである。
- ・火打石は、水晶を金属で欠けさせることで火花がでる原理。
- ・火花が飛び散ることで周囲に電磁波的な電波や電子が飛び、静電気が発生し、火花で空気がイオン化されるという科学的な解釈もできる。

- 子どもが「行ってきます」という前に弾指を「おまじない」として結界を張り、いじめにあわないように、交通事故に注意するようになどとしても十分使える。

☆ 結界を張る方法としては、東洋では、四隅、障子や升目など四で構成されるもの、弾指など三で構成されるもの、を利用する方法や、九字を唱える方法、また身近なところではおまじないとして火打石を使うなどの方法があります。西洋では魔法円などを用いて行う方法があります。結界の範囲はその人の意識が届くところが目安とされています。

Lesson 2 浄化

1. 浄化の意味

- ・「浄化」は英語風に言うとクリーニング等になる。
- ・「浄」という漢字は、さんずい「氵」=「水」と「争」=「清める」から成り、「水で清める」の意味を持つ。
- ・「化」は、「化ける」「物事を変える」という意味を持つ。
- ・「水で清めるように変える」というのが「浄化」を漢字の成り立ちから見た意味であるため、浄化は「水を使い清めること」と考えると理解しやすい。

2. 西洋と東洋の浄化

～東洋の浄化～

- ・浄化の方法は大きくは、水で「洗い流す方法」と、塩などに漬ける、塩をふりかける、香を使うなど物質に「移し替える方法」の2種類に分けられる。
- ・「洗い流す方法」としては水で流す、海水に浸かる、お湯で流す、滝に打たれるなど。
- ・「移し替える方法」の例としては、塩に漬けるなど。
- ・塩で洗い流すのではなく、塩に移し替えることで、清められ、浄化される
- ・移し替えた塩には、汚(よご)れた、汚(けが)れたものがたまっていくので捨てる。

～西洋の浄化～

- ・祭壇を作り上げ、祭壇の真ん中に浄化したいものを置き、呪文を唱え、清らかにしていく「聖別」というやり方がある。
- ・キリスト教では、川の水を銀の食器に汲み、祭壇に置き、聖書の一節を読むことで、その水が聖水になるとされ、悪魔祓いにはこの聖水が用いられる。

☆ 祭壇など、結界を張った空間に清めたいものを置き、神の言葉や呪文を唱えることによって、その置いたものが清められていくという考え方は、東洋も西洋も共通しています!

3. 浄化の方法

～パワーストーンの浄化～

- ・石は色々なエネルギーを吸ってしまう。

- コップの中に色々なものが入ると汚れて溢れるように、水晶系の石がエネルギーを吸うと悪いエネルギーとして出てきてしまう。
- 浄化はコップを空にする作業と考えると分かりやすい。
- 密閉容器に塩を十分入れ、水晶が塩に完全に埋まるように入れ、蓋をする。
- この状態で最低 3 日間塩の中に入れておくと浄化される。コップが空になる状態。
- 3 日以上経ったら、水晶を取り出して流水で洗い流す。
- パワーストーンのブレスレットやネックレスも 3~4 日ごとには 浄化した方がよい。

~パワーストーンで作られたダウジングの振り子の浄化~

- パワーストーンを使った鎖の振り子を浄化する場合、直接塩に漬けると金属の部分がさびるので、振り子そのものをビニール袋に入れ密封した状態で塩に漬ける。
- ダウジングの振り子は大体 2~3 時間使用したら、コップがフルになると考え、塩に漬けて浄化するとよい。浄化は慎重に行った方がよい。

~ボールペン、ブラシ、手帳などの日用品の浄化~

- 物や場所には汚れがたまると言うより、思考が形となって留まってしまうと考える。
- 「思考形態」=「ソートフォーム」は、20 世紀最大のダウザーと言われた、バーン・カメロンが定義した造語。
- ダウジングの世界で、ソートフォームは、基本的に色々な悪影響を及ぼすとされる。
- 物や場所などは、ソートフォームがとりついていると考え、ソートフォームを取り除く作業を浄化と考える。

Lesson 3. 様々な浄化の道具

～納得できるものを選ぶ～

- ・ 浄化するもの、方法は、宗教や考え方によって分かれるため、自身がどのような考えに基づき、どのような方法が納得できるか、など意識の強さを考えて行うことが大切。
- ・ よいものを選び込むためには、屋敷や部屋の中を浄化して、良いものを選び込んでから結界を張るとことが順番としては正しい。

～波動の消しゴム～

ソートフォームを取り除くには、硫黄の粉をビニール袋に入れ、それを緑色の木綿の袋に入れたものを使用します。「波動の消しゴム」といい、ダウザー協会では「波動除去パッド」として販売している。

～塩～

- ・ 塩は、海の水で体を清めることを禊と呼び浄化をする、日本神道で使われたもの。
- ・ 海水に入れられない場合の簡易版として塩が用いられるようになった。
- ・ 仏教徒はもともと塩を使わないため効果はないとされる。
- ・ 歴史の過程で、葬儀後の清め塩などの仏教的慣習が生まれた。
- ・ 日本でも西洋でも宗教行事の中で使われていたため、「塩は浄化ができる」と思う人は、塩で浄化することは良い。
- ・ 入り口などに施す盛り塩は、中国発祥のもので、客を呼び止め幸運を招き入れる発想を起源としており、結界を張ることや浄化にはならない。
- ・ 部屋に結界を張る方法として、四隅に塩だけでなく、水晶を用いるのも良い。

☆ 浄化に使用するものは塩やセージなど様々だが、コップに入れた水を四隅に置かないなど、自分がこれでよいと思えるものであれば基本的には何でも良い。なぜそれが良いかを自分がその歴史的背景を知った上で浄化できると信じたものを使用する。

～セージ～

- ・ 「スマッジスティック」として売られている、ホワイトセージを用いることが多い。
- ・ ホワイトセージはネイティブアメリカンが使っていたとされる。
- ・ 水晶などパワーストーンを、セージを燃やしてその煙をくぐらせて浄化する。
- ・ 物の浄化だけでなく、空間の浄化もできる。

- 部屋の浄化は、エネルギーやソートフォームが溜まりやすい角や四隅を特に丁寧にその煙をくゆらせるとよい。
- 引越して入居する際は、荷物を運び入れる前にセージによる浄化を行うと、前に住んでいた人のエネルギーやソートフォームを消せるためよい。
- 棒状のホワイトセージのお香もあるのでこれも良い。

～塗香(ずこう)～

- 仏教においては、浄化は元々お香がベースとなっており、体に塗り体を清めるお香を「塗香」と言う。
- 線香は塗香の簡易にしたものである。
- 塗香は粉状で手頃なものから伽羅などが含まれる高価なものもあり仏具店で購入可能。
- 塗香は仏様の前に出る前に行うお清めの儀式で、行い方は以下のとおり。
- 塗香ひとつまみを中指のところに置き、中指同士の付け根を合わせて右回転しながら、手全体に広げる。粉なので香水などと違いつけても香りが落ちていくのが早い。
- 頭、肩、お腹、背中と、4カ所を軽くこすることにより全身が清められこれにより初めて寺に入って良いとされる。
- 匂いの強いものを体につけるということは、人のオーラ、体、バリアを張ると言うことに繋がるため塗香は効果的と考える。
- 仏教の教えに従うと言う意味でも、お寺に行くときには塗香を持参し、寺門をくぐる前に塗香をしてから入っていくと良い

～アロマ・ハーブ～

- ラベンダーなどのアロマオイルなども活用できるが、香りが長く続くことがあるので注意する。
- ゴーストハントではミントティーの残りの葉を床に巻いてホウキではき部屋を清めたりする。

～パージペンデュラム～

- ダウザー協会で「パージペンデュラム」という名前をつけた木の振り子を作った。
- 本体は「パロサント」で、南米では神の木とされ浄化の作用が大変強いとされている。
- 香木なので削って火をつけて燃やせば、匂いが漂い、部屋や物が浄化される。
- パロサントは燃やさなくとも匂いが強く出る。
- パージペンデュラムは、パロサントの中を空洞にしてセージを入れて作った振り子。

- パロサントとセージの力で浄化の作用が大変強い。
- ダウジングの振り子として使うとともに、モノや土地の浄化にも使用する。
- エネルギー的に汚れているモノがあれば、そのうえにかざして右回転させる。
- ペンデュラムでは振り子を上から見て、右回転させるとエネルギーの放射が生まれ、左回転させるとエネルギーの吸収が生まれる。
- 何かを浄化したい場合、右回転をさせることによって浄化のエネルギーを振りまき、悪いものを洗い流すことができる。
- 強い浄化のエネルギーで悪いものを洗い流すというイメージ
- 右回転させて振り子が5分たっても自然に止まらなければ、5分では浄化しきれないなどということと判断し一旦やめる。やめた後も浄化されていく。
- 1～2時間置き、再度浄化を行うと、大体2回目くらいには1～2分で止まる。
- 自然停止まで繰り返すと、根本的な悪いエネルギーを完全に消し、浄化ができる。

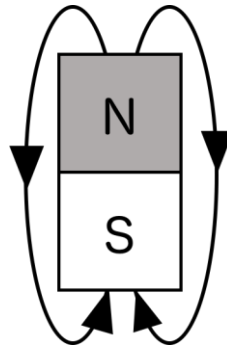
～場所の浄化～

- 引越して家具を入れる前には、まず四隅をポイントでホワイトセージを炊いたり塗香を壁や床に塗るなどして浄化する。
- 振り子を持ち部屋の中で悪いポイント、良くないポイントにチューニングをして、部屋の中を歩く。
- 振り子が反応したところは悪いエネルギーがたまっているところ、悪いソートフォームがあるところ、前の人の良くない思念とかがたまっているところだと判断する。
- 部屋の中をずっと探し、反応したらポストイットなどで印をつけ、パーズペンデュラムでそれぞれに右回転のエネルギーを与える(振り子が自然に止まるまで5分以内)。
- 5分たっても止まらない場合は、次の場所に行き1～2時間経って同じようにする
- これを行うと完璧な浄化が行われ、真新しい状態の部屋に引っ越しする状態となる。
- 土地を買い、家を建てるときも、家を建てる前に敷地の四隅に行うと良い。
- 現在の住居を浄化したい場合にも、部屋の四隅を浄化してから、部屋の中でポイントを探していくと、場所の浄化することができる。

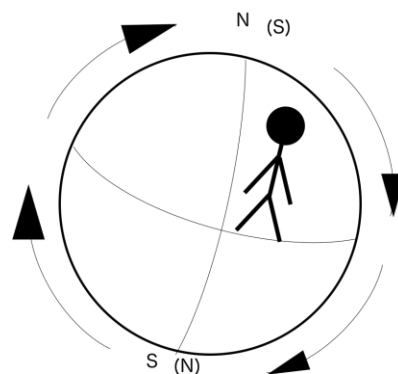
～磁力を使った浄化板／エネルギー増幅板～

- 四角い木に4つ磁石をつけた浄化板で浄化する
- 磁石にはNとSがあり、磁力線はNからSに向かって出ていると考えられる。
- 地球も大きな磁石で、北極と南極がある。

- コンパスの磁石が北を指す(N 極が北を指す)ことは、北極は実は N 極ではなく、S 極であることがわかる。
- コンパスの磁石が南を指す(S 極が南を指す)ことは、南極は実は S 極ではなく、N 極であることがわかる。

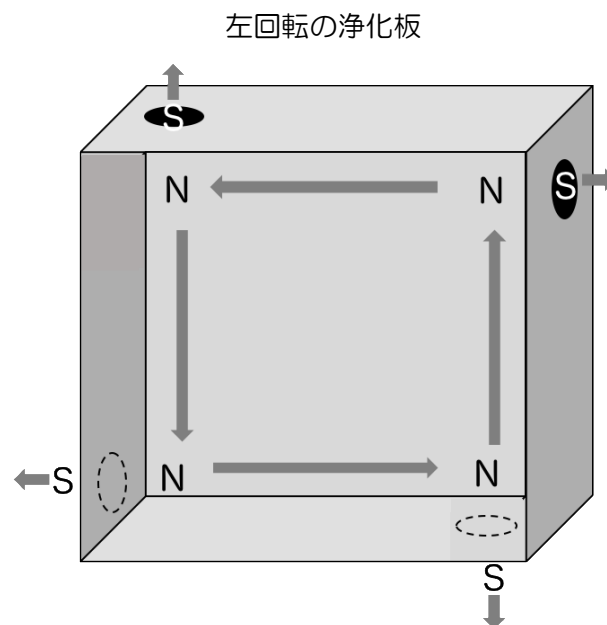


- 磁石の N、S というのは「ノースポール」「サウスポール」という。
- N 極が北を向くということは、北極は S 極だということが分かる。
- つまり地球の磁力線の向きは、必ず南側から上がって北側に向かっていくということが分かる。



- ダウジングの世界では、北枕で寝ると健康になるという考え方がある。
- お釈迦様が亡くなったときに北枕で会ったため、北枕はよくないとの信仰が生まれた。
- 磁力線の考え方からすると、北枕で寝るということは、寝たときに足から頭に向かって磁力線が流れる位置であるという意味では、体に良さそうだということは分かりやすい。
- 血液の赤の成分は基本的に鉄分だと言われており、鉄分は当然磁力線の影響を受ける。
- ダウザーの世界では、微妙な力は健康にいろいろ影響を及ぼすと考えるため、磁力線に従うような寝方をした方が健康に良いとされる。
- 夕方、足がむくむのは、重力に血液が引っ張られるため。

- 北枕で寝ると、足から頭に向かって磁力線が流れ、血液中の微妙な鉄分が磁力を受け、足にたまった血液が頭の方にいわゆる均等化するような方向に流れるため、北枕で寝ることは健康に良いという考え方もある。
- N から S に向かう磁力線をうまく利用するために四隅に磁石をつけた浄化箱は、磁力線の回転の渦ができるように作られている。
- 上から見て左回転の箱は、左回転の渦によってエネルギーを抜くことができるため、浄化したいものをこの中に置くことにより、たまっている悪いエネルギーを抜くことができる。
- 磁力線を使っても振り子の右回転、左回転と同じようなことができる。
- 左回転で作ったものは、悪いエネルギーを抜き、逆に右回転の磁力線の渦を作ったものは、良いエネルギーを与えるための箱となる。
- 振り子などを使わないで、モノを浄化する方法である。



～ソートフォーム／ソートフォームの活用～

- ソートフォームは、ダウジングでは基本的にノイズであるため「いかに消去するか」を考えるが、ソートフォームを有効に活用する方法もある。
- 10年ほど前のアメリカのダウザー協会の会報に掲載された「シカに作物を食べられてしまう被害を無くすためソートフォームを用いた例」を紹介する。

- 畑の周りに 2 本の電線に電流を流したエレクトロフェンスを設置したが、シカにその隙間から作物を食べられてしまう被害が続いた。
 - エレクトロフェンスに変わるソートフォームで柵を作ろうと試みた。
 - ソートフォームでモノを作るためには、イメージする正確な設計図が必要となる。
 - ダウザーが振り子を使い、シカの害を防ぐための柵について、地上何メートル、地下何メートル、横幅何メートル、柵の厚さ、柵の幅、について答えを得た。
 - ダウジングで得た答えを元に、現地に行き、その設計図をもとにイメージを巡らせ、幅 20 cm、深さ 30 cm、高さ 4 m の柵を、ソートフォームで作上げた。
 - 「ソートフォームの柵はシカからの影響をなくすことはできますか?」と聞き、イエスとなったので、エレクトロフェンスを全部取り除いた。
 - その後、シカはソートフォームの柵の近くに来て、U ターンをして違う畑の方に行ってしまうことが数回確認された。
 - ソートフォームによって作り上げた柵は、エレクトロフェンスのように見えなくとも十分防御効果を出すことができた。
 - ソートフォームには、振り子を使いながら細かく設計したものを、イメージで投影して、このように効果を得るという使い方もある。
-
- 部屋や家をどのように浄化していけばいいか、振り子を用い、これとこれが必要、これは必要ない、というようにピックアップする。
 - 例えば、「水と塩はこの部屋に対して効果がありますか?」「四隅に塩を置いて効果がありますか?」「四隅にコップに入れた水で効果がありますか?」と 1 個 1 個聞いていき、これで効果があるとなったものを実際そこに設置する。
 - これを「水の代わりにソートフォームで処置しても効きますか?」と聞き、イエスが出たら、もう水も塩も必要ない。物はあくまでもソートフォームの補佐をするものと考えれば、ある意味実は何でも良い。
 - つまり浄化は「これがないとできない」ということではない。色々な応用範囲が考え付くことができるので、ソートフォームも使い分けていけば、良い事例が取り出せる。

さいごに

～自分自身の浄化が必要と思う時～

- 生霊やストーカーなどから変な思いを寄せられている、特に誰かに呪われているなどの不安を感じている人は、全部振り子で聞いてみる。
- 「私に呪いをかけている人いますか？」誰かを特定するのではなく、「それを防御するにはどうすれば良いですか？」と聞く。
- 「私に呪いをかけている、この呪いに関して はどの方法で浄化できますか？」「浄化し、それが入ってこないようにするためには、結界はどういう方法が良いですか？」
- 全部振り子を使って、自分で診断して自分で処置をすることによって実際効果が出てくる。

☆ 誰かに頼むのではなく、ダウジングができる人は自分でやってみましょう!

- 自分の手に入るもので浄化、それから結界、そういったものをやっていただければ、悪いものを受けずに幸せな気持ちで、生活することができるようになるだろうと思います。ぜひ、活用してみてください!